

追加検査項目(オプション検査)

(税込)

検査名	検査内容・特徴など	検査方法	金額
大腸がん検査 2日法	がんやポリープなどの大腸疾患があると、大腸内に出血することがあります。この検査は、その血液を検出する検査です。採便は、2日間の採取が有効的とされています。大腸がんがあっても陰性、あるいは採取した場所が偶然陰性のことがあるため、2日法での検出率は1日法より1.3倍高く検出できるとされています。	専用キット使用	1,023円
胃がんリスク検査 (ABC検査)	胃粘膜の萎縮の広がりとその程度、胃液の分泌機能、胃粘膜の炎症の有無がわかるほか、胃がんのスクリーニング検査として有用であることが明らかとなり、注目されています。胃・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているピロリ菌の検査です。ピロリ菌感染率は年齢と共に高くなり、40歳以上では50～80%以上の方が感染しています。	血液検査	3,058円
消化器系がん検査 (CEA)	広範囲の癌に対して非特異的に高値になります。加齢や長期喫煙等でも高くなる場合があります。	血液検査	1,529円
リウマチ検査 (RF)	関節に起こる炎症がもたらすつらい痛みや腫れ、変形を特徴とする病気です。男女の割合は1対4と女性に多く、発症年齢は30～50歳代、特に40歳代がもっとも多いことが分かっています。	血液検査	407円
前立腺がん検査 (PSA検査)	前立腺がんで高値になります。前立腺肥大症、前立腺炎でも高くなります。	血液検査	1,727円
子宮・卵巣がん検査 (CA125検査)	卵巣がんで高値になります。卵巣のう胞・子宮内膜症・肝硬変・急性膵炎・月経・妊娠などでも高くなります。	血液検査	1,727円
B型肝炎検査 (HBs抗原)	B型肝炎ウイルスの有無を調べる検査です。B型肝炎の原因となるHBs抗原は感染後発病せず、キャリアとなっている場合があります。	血液検査	407円
C型肝炎検査 (HCV抗体)	血液中のC型肝炎ウイルス抗体を検査し感染の有無を調べます。ウイルスキャリアの方もいますが、陽性者は慢性肝炎、肝硬変、肝臓等のリスクを伴います。	血液検査	1,430円
腹部超音波検査	肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓を検査します。腹部の病気だけでなく、腹腔内の腹水や出血も発見することができます。また、胃・腸などの管状臓器以外のガンや、脂肪肝・胆石・肝硬変などの生活習慣病の早期発見にとっても有効です。	エコー検査	3,366円
乳房超音波検査	腫瘍など体に異常があると、反射時間にズレが生じ、発見につながります。超音波検査では良性の乳腺症、しこりのようなものから、乳がんまで描出されます。X線のような被爆もないため、妊娠中の方でも検査を受けることが可能です。	エコー検査	2,134円
頸部超音波検査	動脈硬化の状態を調べる検査で、動脈の壁の厚さや狭さとその程度を検査します。動脈硬化が原因となる心筋梗塞や脳梗塞、大動脈解離などの病気が発症する危険度を推測することができます。	エコー検査	2,541円